

以下は、定期巡回随時対応型サービスに加え、他の介護・看護サービスと連携することで、利用者の多様なニーズに応え、より高い効果・メリットを得られることを示す一覧表です。

各項目では、利用者のニーズ、定期巡回の機能、補完する他サービス、具体的な連携方法、期待される効果・メリット、および備考を明記しています。

No	利用者のニーズ	定期巡回機能との適合性	補完する他のサービス	具体的な連携方法	期待される効果・メリット	備考
1	健康状態の定期チェック	バイタルサイン・健康状態のモニタリングが実施可能	訪問看護	定期巡回時に看護師が健康状態を確認、必要時に訪問看護師が詳細検査・処置を実施	早期異常発見、病状の悪化防止、専門的な医療対応の強化	訪問看護との連携で、より専門的なケアが可能
2	急変時の早期発見	急変サインの確認と緊急連絡体制の整備が可能	緊急時対応（外来、救急搬送）	定期巡回で急変サインを捉えた際、事前に連携先の医療機関へ迅速に連絡・搬送手配	重篤な症状の早期介入、入院回避による在宅生活の維持	地域の医療機関との連携体制の整備が鍵となる
3	医療・介護連携の強化	訪問時に情報共有・状況確認が実施可能	訪問看護、ケア予防訪問介護	訪問時の情報共有シートを活用し、各サービスとの連絡調整会議を実施	統合的ケア提供、サービス間の連携強化、情報の一元管理	連携先リストの整備と定期ミーティングの実施が推奨
4	介護負担の軽減	定期巡回での状況把握と計画的介入が可能	ショートステイ、デイサービス	定期巡回と連動して、家族が休息できるショートステイ・デイサービスの利用を提案	家族介護者の負担軽減、安心感の向上、利用者・家族双方の生活の質向上	施設や地域のサービス状況に合わせた連携プランが必要
5	安心感の提供	定期的な訪問とケアプランの明確化が可能	デイサービス、訪問看護	事前説明、訪問記録の共有、定期的な状況報告を通じた利用者・家族とのコミュニケーション強化	利用者・家族の不安解消、安心感向上、信頼関係の構築	プラン作成時に利用者説明資料として活用
6	予防ケアの充実	転倒リスク評価、生活環境の点検などの支援が可能	介護予防訪問介護、訪問リハビリテーション	定期巡回時の評価結果を基に、転倒予防プログラムやリハビリ計画を策定・実施	介護度上昇予防、自立支援、機能維持・向上による生活の質の向上	他サービスとの連携で、予防的介入がより効果的に実施可能
7	リハビリテーションとの連携	状態把握によりリハビリ必要性を早期に認識可能	訪問リハビリテーション	定期巡回時にリハビリの実施状況を確認し、必要時にリハビリ専門職へ連絡、プラン調整	身体機能の維持・向上、転倒リスク低減、長期的な自立支援	利用者の運動状況に合わせた柔軟なプラン調整が重要

利用方法のポイント

- 各項目のチェック
ケアマネジャーは、利用者ごとの状況や希望に合わせ、上記各項目をもとに必要なサービスの連携を検討し、プラン提案に反映します。
- 連携先の明確化
各補完サービスについて、地域の連携先（医療機関、デイサービス事業所、リハビリ専門職など）をあらかじめリスト化し、スムーズな連携体制を整備することが望まれます。
- 記録とフィードバック

定期巡回時のチェック結果や連携サービスの利用状況を記録し、定期的にプランの見直し・改善に役立てることで、利用者のケアの質向上につながります。

この一覧表を活用することで、定期巡回随時対応型サービスとその他の介護看護サービスを連携させた統合的なケアプランの策定が可能となり、利用者の安心・安全な在宅生活と、家族の負担軽減を実現する一助となります。